





始)

議会運営・議会活性化では、①文書質問に関する規定を制定、文書質問書及び回答書の写しは全議員に配布している。②議員間討議を議案審議の場で深めている。委員会の議事次第は、議案説明―質疑―議員間討議―討論―採決としている。

#### 【市民との関わり、広報公聴について】

①議会報告会を地域自治会連合会と共催、15地区で毎年5月に開催、報告会で出された意見への回答をHPに掲載、概要は議会だよりに掲載している。

②議会懇談会を市民団体、市民（10人程度）からの申し込みでテーマを決めて実施している。

③議会モニターを公募と団体推薦により10名程度で構成、議員との意見交換会を実施、モニターの意見は「モニター通信」として提出され、議会の回答をHPに公表、議会だよりによりその概要を掲載している。



#### 【主な質疑応答】

防府市議会事務局次長、議会改革推進協議会会長より調査事項説明を受けた後、委員より、①議会モニターからどんな意見が出ているか、またモニターからの意見で改善されたことはあるか、②議員定数についての議論は行われているか、③文書質問はどのような内容が出されたか、④議会だより臨時発行について、⑤議会報告会の参加状況、⑥議員間討議の実情は、などについて質問した。



防府市議会より、①モニターの提案により、記者席と傍聴者席にメモを取りやすいように画板をつくった。本会議中の休憩時間を短縮した。議員のメールアドレスを公開した。議会報告会の案内に広報車を回すようにした。②議員定数半減案が出されたが否決、任意の協議会をつくって削減してきた。③工事などに関することが多い。④議員定数の半減条例案の件で発行した。⑤ほぼ25人から30人程度である。⑥議員間討議はなかなか難しく、あまり活発にはできていない。等の回答があった。

【所見】

文書質問や議員間討議、議会報告会の毎年15地区での開催や議員懇談会の取り組み、議会モニターの活動など、大牟田市議会として今後を検討すべき内容が多く、参考になった。特に本市議会でも試行錯誤している、議員間討議の定式化と議会モニターの取り組みは、実践的に学ぶことができた。

議会改革の立場で本市では、今年度も9カ所で議会報告会を開催しているが、防府市は15地区での開催であり、本市でも今の回数でいいのかの議論が必要だと感じた。

(2) 広島県尾道市議会

市の概要

H26. 4. 1現在

	尾道市	大牟田市
市政施行	明治31年4月1日	大正6年3月1日
人口	144,247人	121,630人
面積	284.85 km <sup>2</sup>	81.55 km <sup>2</sup>
職員数(現員数)	2,234人(市病院等含む)	1,035人

尾道市は、人口144,247人、世帯数64,387世帯。地勢は広島県の東南部に位置し、瀬戸内海に点在する島々からなる南部、本州沿岸を中心とした中央部及び内陸盆地からなる北部で構成。陸上交通も市内を東西に横断する山陽自動車道と中国横断自動車道及びしまなみ海道も交差する瀬戸内の十字路としての役割もある。

委員会等の状況

	尾道市	大牟田市
常任委員会	総務委員会 8人 民生委員会 8人 文教委員会 8人 産業建設委員会 8人	総務委員会 8人 市民教育厚生委員会 9人 都市環境経済委員会 9人
	任期	2年
特別委員会	議会改革特別委員会 10人 瀬戸内しまなみ海道通行料金等調査特別委員会 7人 庁舎整備調査特別委員会 10人	議会改革特別委員会 10人
当初予算	2月定例会会期中に議長を除く議員全員で構成する予算特別委員会を設置し付託	2月定例会会期中に議員全員で構成する予算特別委員会を設置し付託

補正予算	所管常任委員会に付託 (ただし、2月定例会は 予算特別委員会に付託)	所管常任委員会に付託
決 算	9月定例会会期中に議長 及び議会選出監査委員を 除く全議員で構成する決 算特別委員会を設置し付 託、審査、最終日に報告 後、議決	9月定例会会期中に議員 全員で構成する決算特別 委員会を設置し付託、審 査、最終日に報告後、議 決

【2月定例会、特別予算委員会について】



会期日程は約1カ月程度(28日程度)となっており、本市より短縮した日程で取り組まれている。

特別委員会の審査日程は、総体質問後の4日間(別途予備日1日)。予算審議では内容によっては午後8時～9時まで時間を要するときもある。大牟田と同程度の日程(4日間)であったが、運営を含め内容的にはかなりの違いがある模様。

【議会広報・公聴活動について】

○議会報告会

本年(H26年6月議会)に議会基本条例が施行されたばかりであり、議会報告会をやってみて、まだ市民との距離感は縮まらないとの感想も言われていた。

○議会だより

尾道市議会では、基本的に広報紙の編集作業を全て議員により行っているとのこと。



区 分	尾 道 市	大 牟 田 市	備考欄
名 称	おのみち市議会だより	大牟田市議会報	
発 行 部 数	57,300部(全世帯へ)	54,600全世帯へ)	
発 行 回 数	4回(定例会ごと)	4回(定例会ごと)	
発行所要期日	発行まで2カ月半	発行まで30日前後	

○ホームページ／議会中継など（掲載分 ○尾道市 ●大牟田市）

ケーブルテレビを活用した議会中継は、その効果等についても検討すべきではないかと思われる。

区 分	尾 道 市	大 牟 田 市	備考欄
掲載項目	○議長室 ○議員名簿 ○市議会のしくみと組織 ○請願と陳情 ○議会と内容 ○市議会だより（PDF） ○報告等 ○本議会録画中継 （ケーブルテレビの活用）	●市議会の仕組み ●議員の紹介 ●傍聴のお知らせ ●請願・陳情の手続き ●本議会のお知らせ ●政務活動費 ●おおむた市議会報 ●議事検索システム ●インターネット中継	市政調査研究費  議会ごと

### 【所見】

議会運営において、コンパクトな2月定例会（当初予算審査定例会）の会期日程など参考となった。前述もしているが、尾道市は議会基本条例も本年（H26年6月）施行されたばかりであることもあり、これから議会改革を進めようとしている途上であった。例えば、予算特別委員会において、尾道は事務局のマンパワーによるところが多いように見受けられたが、本市では各委員の要望等は会派で起草委員を選出し、まとめており、その点は本市の機能的な面を改めて感じた。

「所変われば品変わる」という諺もあるが尾道市は古い歴史があり、また景観的にも趣がある。交通の利便性（鉄道・高速・航路）にも恵まれ、今後の観光の要所としても潜在力を感じる。議会改革度ランキング等言えば、尾道市議会は上位100位圏外とのことであったが、今後、議会報告会開催や、議会改革特別委員会を中心に議会基本条例の実践により、尾道市議会の議会改革の進展や上位ランキングも期待されるところである。